

II まちづくりの方針

目標 1 まちの「玄関」を整える

駅前の塩屋らしい風景を受け継ぎつつ送迎などの交通環境を改善。

- 方針① 今の駅前の姿を塩屋の魅力として積極的に保全。
- 方針② 住宅密集地の防災・耐震化をすすめる。
- 方針③ 空地等を活用し、回遊性や団らんの場所を確保。
- 方針④ 空店舗などを活用し、駅前商業を活性化。
- 方針⑤ 車いす、ベビーカー、雨天時など、通りの歩きやすさを高める。
- 方針⑥ バスや送迎の車などが、駅の近くまで来られるように回転地を確保。

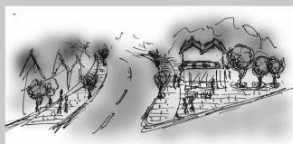


駅前の雰囲気は魅力的なので残していい。でも安全や利便のため、車での送迎などがしやすい場所を駅の近くに設けたい。

目標 2 まちの「魅力」を作り出す

異人館や大谷交差点の周辺一帯を人がつどい、ふれあう場所に。

- 方針① 異人館周辺の景観を整え、一帯の魅力アップを図る。
- 方針② 現存する異人館群の保全と活用方法を考える。
- 方針③ 大谷交差点周辺を交流の拠点として環境整備を図る。



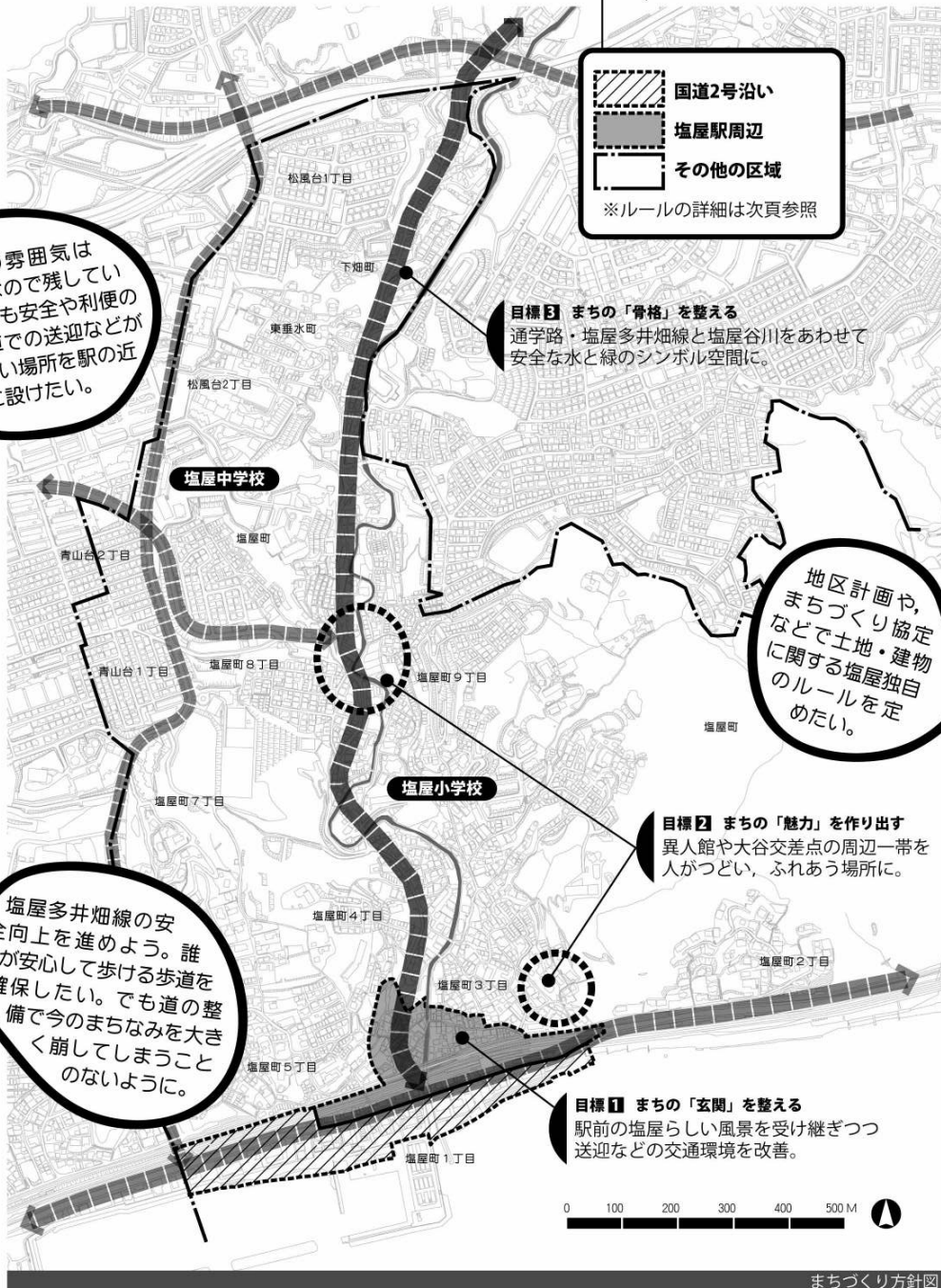
目標 3 まちの「骨格」を整える

通学路・塩屋多井畑線と塩屋谷川をあわせて安全な水と緑のシンボル空間に。

- 方針① まちのシンボルとなる緑と水の空間をつくる。
- 方針② 児童・生徒・園児らの安全な通学路への改善。
- 方針③ 車いす、ベビーカーなど誰もが安全・快適に通れる歩行者のための空間を確保。
- 方針④ 道路整備は今の街並みを受け継いだかたちで。
- 方針⑤ 緊急車両や公的交通に配慮したみに。



塩屋多井畑線の安全向上を進めよう。誰もが安心して歩ける歩道を確保したい。でも道の整備で今のまちなみを大きく崩してしまうことのないように。



目標 5 まちの「風景」を受け継ぐ
海や山への優れた眺めやまちなみを将来にわたってまもり、育てる。

目標 6 まちの「骨格」を整える
通学路・塩屋多井畑線と塩屋谷川をあわせて安全な水と緑のシンボル空間に。

地区計画や、まちづくり協定などで土地・建物に関する塩屋独自のルールを定めたい。

目標 4 まちの「魅力」を作り出す
異人館や大谷交差点の周辺一帯を人がつどい、ふれあう場所に。

目標 1 まちの「玄関」を整える
駅前の塩屋らしい風景を受け継ぎつつ送迎などの交通環境を改善。

目標 4 まちに「安心」を散りばめる

防災広場や避難路を整えて建て詰まった地域の安全を高める。

- 方針① 家が建て詰まっているところなど、防災上の問題が大きい地域の耐震化・不燃化をすすめる。
- 方針② 空き地や古い空家を活用し、延焼を抑えるための防災小広場や避難路を確保。



目標 5 まちの「風景」を受け継ぐ

海や山への優れた眺めやまちなみを将来にわたってまもり、育てる。

- 方針① 塩屋にふさわしい景観に調った建物が建つように独自のルールを作る。
- 方針② 塩屋にふさわしくない用途の建物が建たないように独自のルールを作る。

- 国道2号沿い：眺望を阻害する高層建物や一部の建物の用途などを規制します。
- 塩屋駅周辺：一部の建物の用途の規制や、商業のにぎわいをつくるルールを設けます。
- その他の区域：ゆるやかなまとまりのある、塩屋らしい家並みを誘導します。

目標 6 まちの「自然」を受け継ぐ

緑や水辺をまもり、豊かな自然を再びまちなかにとりもどす。

- 方針① まちなかに残された貴重な水辺や緑の保全と再生を図る。
- 方針② 塩屋谷川の美化や水質改善の取り組みを進め、魚や水鳥、虫など多くの生き物が棲む環境への改善を図る。

